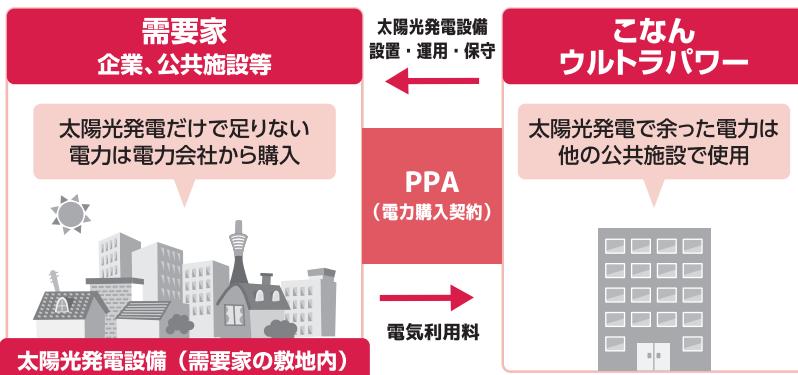


自然エネルギーで地域を元気に!

こなんウルトラパワーは湖南市と湖南市商工会、市内民間企業が中心となって平成28年5月に設立した地域に根差した電力会社です。



市内事業所の皆さんへ

こなんウルトラパワーでは、国が発表している「地域脱炭素ロードマップ」で重点対策として掲げている自家消費型太陽光発電設備の導入を促進すべく、PPA事業のご提案をしています。基本的に初期投資はゼロで、電気料金とCO₂排出の削減等が期待できます。ぜひ相談ください。



こなんウルトラパワー



<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは

0800・800・5084

午前9時～午後6時(土曜・日曜日・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 9月の発電結果

初号機 発電量: 1,941 kWh
パンパン発電所 設備容量 20.8 kW
売電額: 85,404 円

一般家庭 約 6軒分

式号機 発電量: 9,883 kWh
甲陸発電所 設備容量 105.6 kW
売電額: 434,852 円

一般家庭 約 33軒分

参号機 発電量: 1,546 kWh
十二坊温泉 ゆらら発電所 設備容量 16.3 kW
売電額: 54,419 円

一般家庭 約 5軒分

四号機 発電量: 2,466 kWh
柑子袋まちづくり センター発電所 設備容量 23.6 kW
売電額: 86,803 円

一般家庭 約 8軒分

※ 1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算



すすめ!
みんなの SDGs



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

湖南市は持続可能な開発目標(SDGs)の達成をめざしています。

「誰か」のことじゃない ～考え方相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～

世界人権宣言が国連で採択された12月10日は「人権デー」に定められています。この人権デーを最終日とする12月4日～10日が「人権週間」で、全国各地において人権尊重思想の普及などを呼びかける啓発活動が展開されます。

部落差別や女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人などに対する偏見や差別など、さまざまの人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人ひとりがさまざまな人権問題を「誰か」の問題ではなく自分の問題として捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

●人権週間巡回キャンペーン

甲賀人権擁護委員協議会では年間を通して、市内の保育園・幼稚園・こども園での映像人形劇、小学校では映像紙芝居を活用し、中学校ではSNSによるトラブルなどをテーマにした人権教室を開催しています。映像人形劇・紙芝居はいじめをテーマにした作品になって

おり、実際に人権擁護委員が映像に声を吹き込み、少しでも人権に親しみやすく楽しく触れ合ってもらえるようにという思いが込められています。

人権週間には、甲賀人権擁護委員協議会が主体となって毎年啓発活動の一環として市役所・企業施設などを訪問する巡回キャンペーンを行い、命の尊さ・人を思いやる心・人権の大切さを伝える活動を行っています。

この人権週間をきっかけに「思いやりの心」や「かけがえのない命」について考えてみませんか。

■日時・場所 12月4日(月)

- ①午前11時20分～ 利昌工業(湖南工場)
- ②午後0時5分～ 湖南市役所(東庁舎)

12月7日(木)の午後4時30分から5時30分まで、イオンタウン湖南店、平和堂石部店・甲西店、フレンドマート菩提寺店で街頭啓発を実施します。

問人権擁護課(東庁舎) ☎71・2322 ☎72・3788